

気取らない良さ



「ひなひなはひなひな……と響く、六花亭のCMソング。通して歌うと」「ひな」が55回も出てきます。作曲した僕が言うのも変ですが、かなり変わった歌です。商標名も含めて出てこないし。

実はCMソングには、もう一つ別の候補作がありました。そちらのほうはオーソドックスでCMらしい構成になっていました。

「でもさがいらいですか」と六花亭に尋ねたら、「ひな」がたぐひたぐひと出てくるほうがいらいで響く。ちよっと変わった、面白い企業ですね。

しかしよく考えてみると、六花亭といえば例の花柄包装紙。「ひな」なんですもん。東京であの包装紙を持った人を見ると、「やあ、やあ」と手を差し伸べたくくなります。昔からの友人に出会ったような気持ちかな。

六花亭のお菓子には気取ってないところが、気に入っています。美味しくて、健康的で、身近で……これって、僕が北海道に抱いているイメージと一緒なんです。

コンサートやライブを聞いて、六花亭はいつも文化を届けてくれますね。舌の端にただけじゃなく心の豊かさを広げようとしている。この活動はずっと続けてほしいな。お菓子も文化を、人の幸せに直結しているのですから。

(強)

＜ 小倉 康徳 氏 写真 ＞

